

10.11日 安心して暮らせる地域の実現をめざし
20日 全国地域安全運動を実施

10月11日から20日までの10日間、犯罪を防止し、安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、「全国地域安全運動」が実施されました。

町内では、運動の初日となった11日に、五城目警察署管内の各市町村防犯協会と防犯指導隊などで組織されるキャラバン隊の皆さんが町役場前で渡邊町長へメッセージを伝達した後、町内小売店や田町町内会などで防犯活動を実施しました。このうち、各小売店で実施した車の施錠確認では約197台中無施錠が14台ありました。車を離れるのが少しの時間と思っても、必ず鍵をかけるようにしましょう。

15日には、県立五城目高等学校で防犯教室が開講されました。防犯教室には全校生徒が参加し、五城目警察署員から特殊詐欺の加害者・被害者にならないために注意すべき点や、電子マネー詐欺被害に遭わないよう呼びかけがありました。その後、特別ゲストとして五城目署の一日署長を務めた潟上市出身のお笑いコンビ「ねじ」が登場し、漫談を披露しました。



田町町内会で家屋の防犯診断を実施



一日警察署長を務めたお笑いコンビ「ねじ」(右端から2人)



交通指導隊、交通安全協会、五城目警察署などの協力で交通死亡事故ゼロ2500日を達成(上)
藤野幸雄五城目警察署長(左)から顕彰状を受け取る渡邊町長(右)

10.7日 交通死亡事故ゼロ
2500日を達成

五城目町は、本年9月20日で「交通死亡事故ゼロ2500日」を達成し、10月7日、県知事から表彰状、県警察本部長から顕彰状が授与されました。

表彰状と顕彰状を受け取った渡邊町長は「記録達成は全町民と交通指導隊や交通安全協会など関係団体による日ごろの地道な努力のたまもの。今後も一日一日の積み重ねを大切に、全町民と関係団体で連携して取り組む」と交通安全意識のさらなる高揚に向けて取り組んでいくことを誓いました。

本町が2500日を達成するのは初めてで、11月1日現在、県内では最長となっています。今後も交通安全運動へのご協力をお願いします。

10.3日 県老人クラブ大会で
2個人と3団体に表彰状

10月3日、秋田市で「第57回秋田県老人クラブ大会」が行われ、老人クラブ活動に功績のあった個人や団体に表彰状が贈られました。町内からの受賞者・受賞団体は以下のとおりです。(敬称略)

▶秋田県知事表彰

- ・老人福祉功績者 佐藤 ミヨ子 (83歳・川原町)
- ・優良老人クラブ 谷地中老人クラブ

▶秋田県老人クラブ連合会長表彰

- ・老人クラブ育成功労者 荒川 要悦 (85歳・築地町)
- ・優良老人クラブ 脇乙長生会老人クラブ、野田老人クラブ寿会



町内からは、2個人と3団体に表彰状が贈られました



10月1日から運行を開始したマイタウンバス。ホテルサンルーラル大潟前発の第1便は、高校生など約20人の利用がありました。

10.1日 3町村間を結ぶマイタウンバス
運行がスタート

10月1日、五城目町・八郎潟町・大潟村の3町村を結ぶ「南秋地域広域マイタウンバス」の運行が始まりました。

南秋地域広域マイタウンバスは、五城目バスターミナルとJR八郎潟駅、ホテルサンルーラル大潟を主な発着点とし、イオンスーパーセンター五城目店や湖東厚生病院、県立五城目高等学校、県立大学大潟キャンパスなどを通ります。マイタウンバスが自治体の枠を超えて連携し、運行するのは県内初となります。

午前6時5分発のホテルサンルーラル大潟前発八郎潟駅行の第1便は、乗客約20人の利用がありました。



9月26日には、八郎潟町のえきま交流館はちパルで「マイタウンバス運行にかかる協定書調印式」を行い、3町村長が住民の利便性向上を図るなどとした協定書を交わしました。左から、畠山菊夫八郎潟町長、渡邊彦兵衛五城目町長、高橋浩人大潟村長。



町米消費拡大地域活動推進委員の皆さんの指導のもと、五城目の郷土料理作りに挑戦

9.30日 10.1日 五一中生が調理自習で
だまこ鍋作りを体験

9月30日と10月1日の2日間、五城目一中の1年生が家庭科の調理実習で郷土料理「だまこ鍋」を作りました。

実習では、町米消費拡大地域活動推進委員の皆さんが調理を指導。班に分かれた生徒たちは、協力しながら炊き上がったご飯をすり鉢ですりつぶして丸めたり、ゴボウやセリなどの野菜を切ったりして、だまこ鍋の調理を体験しました。